

随想□私と神戸

# 佐本進「天の劇場から」 刊行によせて

島田

誠

（株式会社海文堂  
代表取締役社長）

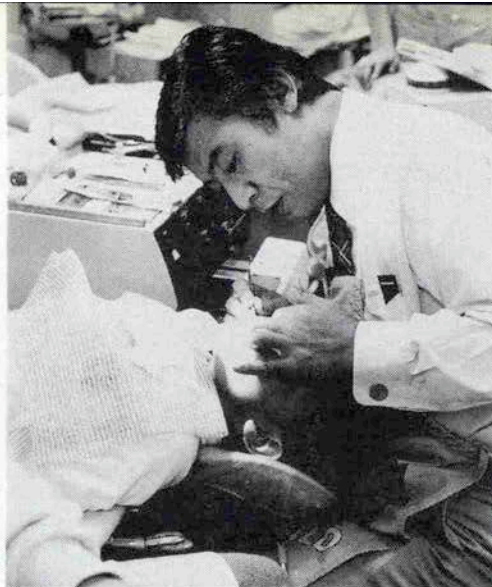
カット／佐本弘子



佐本先生の死を悼む人びとの涙で、天も涙している  
としか思えない雨の中に立ちつくしてから早くも  
一年半がたちました。

祭壇に飾られた柔和な先生の優しい眼が「お前  
がもっとしっかりせんといかん」と語りかけてき  
た時には、まだ僕の胸の内に確たるものが芽生え  
たわけではありません。しばらくして或る人から  
佐本先生が「ぼく、島田くん好きやねん」と言っ  
ておられたと聞いて僕の胸に込み上げてくるもの

がありました。先生とはシアター・ポシエットの  
開館を前にして御相談をうけたのを切っ掛けにし  
て、僕のやっていた元町ルネサンス運動に幹事の  
ひとりとしてご参加いただき、今から思えば超多  
忙の合い間を縫って、優しい語り口で北野町の事  
例などを引いてアドバイスをいただいたことを懐  
しく思い出します。話が前後して恐縮しますが、  
海文堂ギャラリーでの佐本先生に捧げる美術展を  
開催した時におみえいただいた佐本夫人と御嬢様  
が異口同音に店内放送の僕の声を聞いて「パパに  
喋り方も声もそっくり」と言われたのには仰天し  
ました。ともあれ、北野町の小劇場主ならぬ「天  
の劇場から」の見えざる糸に操つられて、多くの  
佐本先生をめぐる旅は、はじまりました。神戸モ  
ーターアルトクラブの仲間として、あるいは先生の  
関った諸団体の仲間としてお付き合いをいただい  
た割に、正直、ぼくは存外、先生のことを知らない  
い。また個人的に語り合ったという記憶もありま  
せん。しかし衝撃的な事件と、先生のひと言が否



ありし日の佐本先生

応なしにほくを駆りたてました。本年ははじめに永六輔さんのトークショーを幕開けにした佐本メモリアルの数々。そして、絶対にやりとげたかった遺稿集の出版。実際のところ生前、佐本先生が、どれほどの文章を残されていたのか、お親しかった方も余りご存知ない。奥様にお願ひしてお借りしたのが、大きなぶ厚いファイル数冊に、ぎっしりと詰ったシアター・ポシェットの記録とダンポール二箱の資料。吉田義武さんに大変な手間のかかる記録の整理を押しつけて、ぼくは先生の文の選択にかかりました。先生の業績の素晴しさ、人への思いやりの溢れた名文については今更、繰り返しません。孤軍奮闘・ドンキホーテのように人生に立ち向った先生の人生が教えてくれるものを、先生の播いた種を、ぼくたちが確実に受け継ぎ育てていかなければと思うのです。本の巻末に記した52ページにわたるポシェットの八年間の活動記録。先生がプロデュースしたものは極

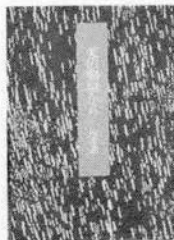
く僅かにしても、大部分は、この実験劇場が無ければ、世に問われることも、また無かった。一日のうち八時間を仕事に、八時間をボランティアにと、義務づけて厳密に実践した先生の生涯は、畏敬の念なしに思い返せない。先生のように誰も出来ない。でも10人の小佐本がいれば良い。願わくば自分が、その一人でありたい。



シアター・ポシェット

■佐本 進(さもと すすむ)

一九三六年、神戸に生まれる。県立兵庫高校を経て、一九六二年、大阪歯科大卒業、同年神戸医大現神戸大医学部入局。一九七〇年、神戸市兵庫区で開業の後、一九七二年に三宮に関西初の小児歯科専門医院を開いた。人間能力開発研究所のシャパンオファスマ理事としても活動。同時に、一九八三年、自宅の庭に小劇場シアター・ポシェットを開館。一九九〇年、患者の急死に対し責任を感じ自殺。その悲劇は、人びとの間に深いショックと同情を与えた。



「天の劇場から」

(風来舎刊二〇〇〇円)

生前、小児歯科医として、人間能力開発研究所の日本代表として、また神戸の文化育成にも尽力した人として3つの顔を持っていた故佐本進氏の遺稿集。



## 映画特集Ⅰ 対談

# 僕らは、映画とミュージカルの ロングランナーズ

淀川 長治 VS 植田 紳爾  
〈映画評論家〉 〈演出家〉

★「紫禁城の落日」は、「ラストエンペラー」より  
ファーストな企画です。

—— 淀川先生は九月にロンドンに行かれまして、映画博物館やミュージカルを観覧されたそうです。植田先生は、映画「ラストエンペラー」をもとに、「紫禁城の落日」を脚色、演出、宝塚で上演されています。本日は両先生

に映画のこと、演劇のことを、特に淀川先生にはロンドンでの面白いエピソードをお伺いしたいと思います。

植田 「紫禁城の落日」は、「ラストエンペラー」をもとにといわれていますが、企画としては「ラスト——」よりずっと前からあったものなのです。

淀川 そんなに昔から企画されていたのですか。それじやどういうところから考えられたの？  
植田 高木彬光さんに「成吉思汗の秘密」という推理小説があるんです。義経が成吉思汗だったという話なんです。ね。その資料を読みましたときに、「成吉思汗の秘密」のプロローグで愛新覚羅家の歴史がたっぷり書いてあるのに驚きました。愛新覚羅のお嬢さんの心中のことや笹竜胆を逆にした形が愛新覚羅家の紋になったことなどを知って、面白いと思いました。それが、きっかけなんです。もう二十年くらい前になります。

淀川 それは知りませんでしたね。と



淀川 長治さん

ところでね、少し話が変わりますが、宝塚どうなの？だんだん面白くなってきたように感じるのね。僕の観たころは、もっと楽しくてさ、「ニュー・ヨーク、パリ」「ルビー」だとか、いっぱい観たのね。それで泣いたのね。それがだんだんストーリー化してきてね、歴史の物語や歌舞伎みたいになってきてね……これはどういう傾向ですか。

植田 宝塚も七十五年やってきたことになります。その間いろいろ企画をこなして前向きにやってきたのです。今のものよりもっと違うものを、これよりもさらによいものを、と挑戦してきました。でも、まあ宝塚は女性ばかりですから、あまり望みすぎてはいけないという気持ちも、半分は心の奥にあるんですよ。それでも、もっと違った新しいものを、と企画してしまってますね。

淀川 いろいろな苦労があったのですね。昔ね、僕の小さい頃は、宝塚にフロ桶をもっていきましたよ。(笑)フロにだけ入るのはもったいない、ってお父さんもお母さんも言うもんですから。そのころ「桃太郎」などのお伽劇があったりね。天津乙女さんがいましたね。そのころから観てるんですよ。それからだんだんハイカラにな

っていったね。その時分はトーキーがなかったから、外国の直送の楽符と歌を舞台で聴けるのが、いいのよね。面白くて面白くてね、日参しましたよ。パリとニュー・ヨークのね、新しいジャズと新しいリズムの踊り観たのね。というわけで、でもね最近ちょっと生意気で厭らしくなって(笑)……「リオリタン」なんか最近やらないの？

植田 企画はあるんですが、何十周年記念とかにやるようになってます。

淀川 やれるんでしょう？いいメロデューヤからね。というわけでね、こんど「ラストエンペラー」やるって聞いてね、お金のくらい使うのかって思ったのね。

植田 映画のあの映像の素晴らしさを舞台に求めたら、もう負けてしまいませんね。

淀川 私とっても楽しみにしていますけどね。ドラマになっっているのね。二十年も前から考えていらっしやったとは驚きですね。実はね、僕は「ラスト」の監督と会ってね、誉めたらね、手紙をくれて、今度会ったら一緒にフロ入ろうと書いてあるのね(笑)今、上演しているのは、どうですか、当たっているの？

植田 おかげさまでありがとうございます。ところで先生は、ロンドンに行っただけですか……。

淀川 今までね、ブロードウェイ、ニュー・ヨークばかり行ってきたでしょう。でもね、ニュー・ヨークに行きたときにね、ホテルなんかでも、どこかにオリジナルなものがあると思ったのね。ロンドンがそうなんです。それでね、ロンドンにもっと行かないか、と思ったの。ミュージカルあります。それから「ミー・アンド・マイガール」も……これが昔の宝塚にそっ

神崎さん  
植田



くりなのね。それともうひとつは「プロスペール——」これはね、観るのにちょうどいい大きさの小屋でね、お客さんが食い入るの。ライトの使い方も上手なこと、転換のうまいこと。それで夢中になりました。というわけだね、いろいろ観てきました。——もつと喋ってもいいの(笑)——それでね、映画博物館にも行きました。「ザ・シアター・ミュージアム」にも行きました。なんといつてもシエークスピアの国ですからね、すごいんだね、これが博物館かと驚きましたね。映画博物館には、エジソンの創ったキネトスコープもありました。その前の影絵や幻燈などぜんぶ入ってるのね。三日間くらい行かないと納まらないのね。植田さんくらいの年齢の方がね、社長さんとか重役さんのような方がいっぱい来てるの、子供だけじゃなくて。ヒッチコックやチャップリンは、もう盛りだくさんでした。

植田 そのような例えば博物館を建てたり、資料を集めたりするのは、イギリスの国がやっているのでですか？  
 淀川 国がやってるの。簡単にできることではないですからね。それでね、僕が昔観たもつとも感激した映画の「男性と女性」ね、セシル・B・デミルの。そこでね、バビロンの女王になって出てくるの、スワンソンが……その衣装もまだあったの。驚いたね、きれいなケースに入ってるね、本物でした。それと同時にね、シエークスピア、これはすごかったなア、やっぱり英国は本場ですよ。その他にオペラやダンスのものもありました。素晴らしかったね。植田さんは、そのような夢を舞台でおやりになるから、幸せですね、ほんとうに。

★植田 「先生は、映画研究のロングランナーですね」

淀川 「あなたの演出されたのも、必ずロングランね」

植田 子供の頃、植田さんのようなお仕事に憧れました。でも、先生はその頃から映画の魅力に浸っていました。少しやるわけですから……初めてご覧になったのは？

淀川 四歳で観ました。その映画の場面も覚えていてる。他のことはだめなんです、代教なんかも苦手でした。

そういうわけで、今八十二歳ですから、もうずいぶん観ましたね。

植田 神戸にいらしたときの映画館は……？

淀川 新開地の映画館に行きました。お父さんとお母さん、お姉さんそれぞれの好きな映画館についていったのね。三本立てですから、それで六本。僕の好きな映画館でのもを入れて一週間に九本観ました、子供のころから。

植田 新開地は、スゴかったですね。たくさんの人の流れに驚きました。聚楽館の辺りとか……今あの人たちはどこに行ってしまったのでしょうか。

淀川 新開地に行くと、ご両親から怒られたでしょう？  
 植田 そうでもないですよ。そんなによくは許してもらえなかったですけども……。

淀川 僕のほうは、よく行け、なんて言われましたよ。(笑)

植田 それは、もうお幸せですよ。(笑)

淀川 宝塚も観てますよ。あのころ、何か芝居でね、「腹へった腹へった」という台詞を言う女優さんいましたね。ハンチング被って、あれ良かったですよ。女優さんのお名前は……。

植田 初音礼子さん。

淀川 僕はあの方好きでした。僕の恋人でした。(笑)

植田 僕は戦後、映画を観はじめたわけですから、先生には、とつてもかかないませぬね。グレゴリー・ペックの「王国の鍵」とか「嘆きの白薔薇」の辺りです。

淀川 ほら、古いじゃない。リッパなものですよ。玄人好みの映画ですよ。上品な映画ね。やっぱり芸術舞台をやられる素質があったんですね。

植田 いやいや。(笑)あの頃、学校へ行くといつては、映画館に行ってお弁当を食べたりもしましたね。

淀川 やっぱお子さんの頃から好きだったんですね。ところで、宝塚では、どのくらい演出なさっているのですか。



映画とミュージカルに万歳ノ

植田 もう三十三年になりますか……。

淀川 幸せね。振付もやっつてらっしゃるの？

植田 少し日本舞踊を自分でもやりますので、日舞のほうは振付をします。もともとは、役者になりたかったんです、中学のころですが……。でも役者になるには、歌も踊りも一応ぜんぶやっつてないと役者になれるといわれましてね、それで一生懸命勉強したんです。それで中学生のときに文化祭がありまして、友人が「君はなんでもやれるから演出やれ」と言っていて、結局役をくれないんです。そのうちに演出がだんだん面白くなって、という次第なんです。

淀川 あなたは、猿之助よりずっといいわ。役者にした

かったね。

植田 そんなお上手をおっしゃって(笑)でも、演出も苦しみの連続ですよ。

淀川 でもそのなから「ベルバラ」が生まれてきたのよ。大当りしましたね。幸せですね。

植田 「風と共に去りぬ」も、舞台でやらせていただきました。

淀川 ところで、「紫禁城の落日」は、結局どのようになるところまで舞台でやられるの？

植田 映画の始まるころからで、ソ連に抑留されるどころまで終わります。映画は、そこからの回想になってきますね。舞台ですから、映画のようにうまくはいきませんが、二つの愛の形が描ければと目論みました。愛新覚羅さんのお兄さんの溥儀は、たいへん祝福されて結婚したんですね。一方弟さんの溥儀は政略結婚の形で日本人と結婚して、みんなに迫害されたりするんですよ。それが最終的には逆転して、お兄さん夫婦は不幸に終って、祝福されなかった夫婦のほうが、ついこの間まで愛を貫き通されたという、二組の愛を表現したいな、と思ったわけです。

淀川 ぼくはね、「紫禁城の落日」ね、えらいもんやってるなアと思って、びっくりした。えらいねエ。「ラストエンペラー」のほうは、監督に会うまでにね、もう彼の狙いは分かっていたのよ。それは、西洋人はね、長い長い間、あのチャイニーズ美術に憧れていたんですよ。

昔から西洋人はチャイニーズの衣裳が好きだったんですよ。扇とか帽子とかにね。そういう憧れを、うまく映画にしたのね、あの監督が。美術品のドラマというわけですね。「紫禁城の落日」でも、衣裳はたいへんでしたか。

植田 それはもう、たいへんでした。北京からたくさん取り寄せたりしました。以前は、中国からそんなこと考えてもいせんでしたが、時代が変わったんでしよう。

淀川 それで音楽は、京劇のようなものも入るの？

植田 あまり入れておりません。その頃の童謡とか流行

った歌とか、その時代の有名な曲を入れてみました。「ロンドンデリー」、またジャズの曲も入れたりました。

それは、中国のあの紫禁城の中では音楽的に工夫しないと二時間の劇をもたせられないからなんです。宝塚に来られる方も、若い方が多いですから、音楽に馴みが薄いと、ちよつと飽きられても困まるし、と思いました。それで上海にジャズをもつていった日本人の話もない交ぜてみたんですね。一九二〇年代ですから、ジャズのいちばん流行ったところですし……。そうすれば紫禁城の中も弾みがでてくると考えました。フィナーレも、あの頃のジャズを使つたのです。

淀川 若い人のためには現代的な感覚が要りますね。

植田 拒否反応を起こされてはね。

淀川 中国の人のことを、また日本人が演るのもいいね。西洋人ではなくてね。

植田 親近感がありますね。

淀川 僕はね、何回もニュー・ヨークに行つたり、また今回ロンドンに行つてきたりしたのに、あの有名な、今流行つてる……「ミスサイゴン」でしたか。あれを観ておかないといけないのに、観てないの。ロンドンでも演つているのね。でもほかのを観てしまったのね。

植田 あれは、盗作だと友人が言っていました。ヘリコプターで降りる場面など、以前のものにあつたのと全く同じだ、と言うんですね。

淀川 そんな感じがしますね。「王様と私」でね、シャムのおどりのところがあつたでしょう。あれね、うまく日本の黒子を真似てエキゾチズムを醸し出していましたね。あれは成功しました。うまいですね。でも、こんどのは、どうも盗作らしくて観に行かなかつたのね。でもショウは好きなのね。

淀川 お稽古は、どれくらいやるの？

植田 だいたい一カ月くらいやります。宝塚は、まとまりがいいんですよ。東京では、役者さんのスケジュールの都合をあわせるのがたいへんでしょう。その点宝塚

は、少し言葉は変ですが、隔離されていますからね、一時集合となると、全員練習に集まりますから、それはやりやすいですね。宝塚で初日をやってうまいかなくても、僕の責任だと思つてしまいますね。生徒が一同に集まって真剣ですから。

植田 僕自身宝塚は、そんなことはないのが、幸せです。

淀川 そうですか、それは幸せですね。初日は、前日遅くまで稽古されるんですか。

植田 晩まで練習しています。

淀川 たいへんね、でもみんなに夢をお与えになるお仕事ですから、頑張り甲斐があるでしょうね。ところで、「コーラスライン」の元は「ミー・アンド・ジュリエット」というのね。「コーラスライン」の四年前だったかな、これ僕観に行つたの。ひとりずつ出てきて踊るのね、いろんな人が。面白くてね、個性あるのね。あんなの植田さんにも演つてもらいたいですね。

植田 ロンドンとかブロードウェイでは、アイデアの発展の仕方がすごいですね。セットの使い方、照明の使い方など、目をみはりますね。ロンドンとかニュー・ヨークでは、劇場を潰してでもライトを付けるという意気込みがありますね。その代わりヒットすれば何年でも演れるわけですから……。

淀川 ブロードウェイでは、裸ばっかりの「ヘアー」、もう十何年やってるけど、お客さんは日本人ばっかりね。裸ばかりですから。(笑)看板は、日本語で書いてあるの、どうぞ、どうぞいらつしやい、なんてね。(笑)がつくりしたよ。そういうわけでね、でも僕はショウ大好き、アンナ・パブロワからアルヘンチーナからみんな観てきたからね。ショウは僕の少年時代からのひとつの夢でしたね。ショウやりたいな、と思つた。その点、植田さんはちゃんとやってらっしゃって、お幸せですね。

植田 三月は東京公演ですからぜひ観にいらしてください。

(新神戸オリエンタルホテル文化教室エリオ藤の間にて)



## 映画特集Ⅱ

# 神戸をシネマタウンに

## 観客本位の映画文化 豊かな神戸に



小林 義正氏  
「神戸に映画文化を」  
連絡協議会代表

神戸は映画上映発祥の地、東の浅草、西の新開地といわれた映画興行のメッカのあったところ、なのに見たい映画が大阪どまりで神戸にこない、なんとかそんな状況を変えたいと、「神戸に映画文化を」連絡協議会を結成して早や5年、この間に神戸でみれなかったアジアの作品などを含めて各国の作品を「KOB E国際映画フェスティバル」として幅広い市民に支持をひろげつつ発展してきました。そうしたことの反映かどうか一定の変化ができています。

「アサヒシネマ」が1館ふえ単館ロード系の専門館として発足し、「ロップニカ三宮」がポルノをやめて一般館に、「パルシネマ」しんこうえんも映画館の設備を充実、また新聞会館も改装してコンパクトな映画館2館に生まれ変わ

るなどの変化が生じています。映画館が量から質の時代への変遷を感じさせるものです。

さらに来年にはハーバーランドに映画館が5館も誕生することも聞いています。現象面のみでは映画文化豊かな街に変身しつつあるといえますが、これを単なる経済の論理で切りとるのではなく常に映画観客を中心視座に据え

た展開を望むものです。

さて、第4回KOB E国際映画祭は「愛しの日本映画に捧げる」として前半は市民投票をもとにした名作上映、後半は新進気鋭の監督作品と多彩なゲストを迎えてのイベントには多数の市民が参加してくれています。これからも映画祭を充実させ映画文化豊かな神戸をめざしてゆきたいと思えます。

## 日本のハリウッドになれるかも?!



打間 奈津子さん  
株式会社カルチャー  
ビジネス代表取締役

外国貿易で開けた街、神戸は、異文化が日本に入ってくる窓口でもありました。神戸から日本中に広まっていった異文化は、数えれば120にものぼるといいます。映画もその一つ。

たぶん、長い船旅でやってきた外国人貿易商が、異国で暮らす淋しさをまぎらす楽しみとして、映画フィルムも一緒に運んできたのでしょう。

そういう神戸の歴史を知って私

は、北野町で私がプロデュースしている公開異人館のひとつに「ハリウッドスターウェイ」と名付ける映画異人館も加えることにしました。そのアイデアを思いつくとすぐに私はアメリカへ飛び、映画のメッカであるハリウッドを訪ね、たくさんの懐かしい名作を思い起こさせてくれるポスター、そしてF・コッポラ監督が「スターウォーズ」を撮った時に使ったカメラなど撮影機器を譲り受け、それを展示し、スタジオセットを再現して、映画異人館に仕立てました。

今ではすっかり神戸の観光コースになった異人館めぐり。ここを訪れる人々は必ず「ハリウッドスターウェイ」にも立ち寄ってくれます。そして私の予想していたとおり、みなさん、ポスターに昔の名作を懐かしがり、時間を忘れる。



# ダウンタウン映画祭の意味



伊良子 序氏  
〈神戸新聞記者  
文化〉

今年の十月、神戸・新開地「ダウンタウン映画祭」を開催した。往年の繁栄は見ることがない新開地を若者の芸術活動の拠点として再興させようという「アートヴィレッジ構想」の一環としての取り組みである。開催までには、さまざまな曲折があった。大衆的な街らしくヤクザ映画の特集を望む声もあったし、にぎわいのカギを握るヤングの趣味に合わせてアクションものをとする声もあった。それらは、いずれも特効薬として、すぐに客を呼びたいという感情の素直な表れだったろう。

しかし、熟慮の末、選んだのは、市民投票をベースに、下町を舞台にした名作を上映するというオーソドックスな道だった。淀川長治先生の監修もいただいで、邦画、洋画の名作十本を選んで、新開地の劇場で一週間上映した。

最終的に集まった観客は千人に満たない数にとどまり、この種の映画祭としては決して満足できる結果とは言えない。しかし、新開地の現状を考えれば、再出発の数

その様子を見て「みんな映画が好きなんだなあ」と思います。と同時に「映画はやっぱりすばらしいロマン」と痛感します。

その映画が寂れているという。映画にゆかりのあるこの神戸で、なんとかして映画が復興できない

## 文化を伝える最も判りやすい手段、映画



檀上 重光氏  
〈神戸市立博物館  
副館長〉

神戸という街は明治以来、日本の文明開化の玄関口でした。それで神戸市立博物館の性格も「国際

字としては上々だろう。

会場で集めたアンケートには、市外から来た熱心な映画ファンへの激励の声も多かった。それを糧にして、地元の人々と行政とともに第二步を考えたい。

新開地に繁栄を呼び戻すことも映画館をいっばいにすることもなまやさしいことではない。ならば、急いで奇作を用いることより、名画を上映して本当のファンを集めることから始めたい。じっくり腰を据えた長期の展望に立てば、第一回のダウンタウン映画祭は今後につながる財産を残してくれたと信じている。

ものか。映画博物館の建設とか、あるいは世界に通用する神戸映画祭を催したりすれば、神戸に魅力がもう一つ加わり、日本のハリウッドに神戸がなれるかもしれない。それだけの舞台を神戸は備えていると思います。

文化交流、東西文化の接触と変容をテーマとしています。その一貫として、世界の国々の映画上映活動をつづけています。それぞれの国や民族文化を知るには、映画が最も手とり早いメディアと思われるからです。

これまでに欧米はもちろん、アジア諸国をはじめアフリカ、ラテンアメリカの映画など、いわゆる商業映画館で上映されない作品をとり上げてきました。毎回十回シリーズにし、なかでも「韓国映画祭」「中国映画祭」あるいは「東南アジア映画祭」などは、なかなかの好評でした。

もちろん劇映画が主体ですが、できるだけその国の文化映画も併映するようにしています。当館の目的からしても、それは当然でしょう。歴史物の映画の場合は、時代背景を知るための参考資料も印刷してお渡ししました。

現在は「日本探検・記録映画シリーズ」を開催中です。これは私たち日本人が、自分自身をもう一度見つめ直してみようというネタです。日本の基礎文化といわれるものが、いかに周辺諸国の文化と関連しているかを知ってほしい

のです。まず自分を知ることが、  
本当の意味での国際化の基本とな  
るものでしょう。

国際港都といわれる神戸は、映  
画発祥の地でもあります。決して  
目立った運動ではありませんが、  
地道に今後もつづけて行こうと思  
っています。(談)

## 日々悪戦苦斗の ミニシアター



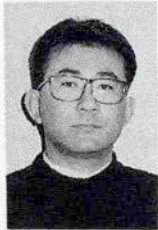
中西 恭氏  
〈アサヒシネマ  
興行部長〉

アサヒシネマ3がいわゆるミニ  
シアターとして新館オープンして  
二年が過ぎた。それまでは東宝と  
松竹の洋画系の系統館二館であり  
当方の意向と関係なく映画が決ま  
る事が殆んどなのは、系統館であ  
る以上致し方ない事であった。

一方、神戸では観れない名作が  
多い不満の声と共に、ミニシアタ  
ー新設の要望が当館に相繼いだ。  
シネマ3はどこにも属さない映画  
館であり、質の良い名画をオーブ  
ン以来上映し続け、昨今漸く市民  
の皆様にも名画館として認められ  
た様である。ところが評判とは裏  
腹に、実状は悪戦苦斗の連日であ  
る。その理由は、様々で根深く幅  
広いので一言では言い難い。  
観客にとって映画界の内側を知

る由もなく、また知る必要もない  
と思われる事だけれど、映画を観  
る動機が、宣伝広告の大きさや量  
で決められる方が多いと耳にすれ  
ば、一寸待つてと言いたくなる。  
シネマ3の映画の配続元の殆ん  
どが、VIP等のメジャー系とは  
比較にならない程小さな独立系の  
会社であり、フィルムの所有本数  
も極端に少ない。しかし映画は例  
えばカンヌ映画祭等で観て選んで  
買って来た物であり、それ等を更  
に当方で選ぶ訳であるから、映画  
は自信を持って名画名作と言える  
のである。悲しい哉、当館上映中  
の映画は、全国でその期間当館の  
みである事が多く、宣伝は当館の  
この映画の興収から捻出せざるを  
得ず、従って地味な宣伝しか出来  
ない訳である。  
心の豊かさを求める名画名作の  
映画館、それがアサヒシネマ3な  
のです。

## 映画制作のために 神戸も資本を



白羽 弥仁氏  
〈映画監督〉

いくら有能な監督と素晴らしい脚  
本があり、優秀なスタッフが集つ  
ても映画は完成しない。どんなク

ルマでもガソリンが無いと走れな  
いように、おカネが無いと映画は  
出来ない。

今、僕は良くも悪くも、いや悪  
くも悪くも神戸で映画を作ろうと  
夢見ている人の代表であろう。な  
んたって毎日毎日おカネ集めに走  
っているのだから。そして九十九  
パーセント絶望している。映画を  
作ることに絶望しているのではな  
く、「神戸の資本で」映画は作れ  
ないんじゃないか、ということであ  
る。

いくら文化芸術振興をお題目に  
様々な企画を練ろうとも、たかだ  
か一億とちよつとの映画に出資す  
ることが出来ない「ファッション  
都市」の現状をご紹介しよう。ど  
んなに熱心にビジネスとしての投  
資をお願いしても、「映画は分か  
らない」「有名女優は出るのか」  
といったご自分の尺度でしか見よ  
うとしない社長さん、「儲からな  
い」「こちらでも商売ですから」と  
恥も外聞もなく金儲け至上主義を  
振りかざす宣伝部、「ウチも赤字  
ですから」「丁度宣伝費をカット  
する決定をしたばかりなんです  
よ」とご自分の会社が明日にでも  
倒産しそうだと言わんばかりの役  
員氏。別に宣伝費を貰いに来たん  
じゃないんだけどなあ…。

九十年代からこの先、ソフトの  
時代だということがまだ分からな

## 名画館の存在



小山 康之氏  
〈バルシネマ  
しんこうえん〉

映画は娯楽。シリアスな或いは芸術的作品であっても観客が良かったと満足できれば広い意味での娯楽であり、私がバルシんの運営と番組を考える上での基本としている。

現在の映画(館)と観客の繋がり希薄で興行側は様々な映画を提供し見る側は各々の興に合ったのを見に行く。それは当然の事としても、数少ない話題作に集中する一方いい作品でも見向きもされない事が多く寂しい限り。そして何千万の人が製作に携わり手間ひまかけた作品をビデオで済ます人達のいかに多い事か。料金の差が大きくても佳い映画に出会った時の満足感が代え難いから映画評等を頼りにもっと冒険して欲しい。勿論館側も映像・音響・環境の面でベストを尽くしたいと思う。よく映画とTVでは迫力が違うと言うが本当の違いは「心へのインパクト」でこれは皆さんと共に大切にしていきたい。

公開される洋画の多くに眼を通

いのかノ外国の有名なモノなら良くて、地元の才能は勝手に東京で

## メリケンパークの 人気もの

### 映画上映の記念碑



小泉 美喜子氏  
〈月刊神戸っ子  
編集長〉

汐風とかもめと行き交う船たちの景色が刻々と変る。そんなミナトの風景をメリケンシアターのどでかい石のモニュメントを、四角いスクリーン型に穴をあけた中に写るのだ。

しているが、見応えのある作品で気付かれずに終わるのも数あり、端的な例が「未来世紀ブラジル」。鮮烈な映像と圧倒的なパワールの傑作だが当館では組合せを替え既に3回上映している。こう云った作品や気軽に見れる娯楽作を選び出し、一貫した番組構成で提供し続ける事に依って観客との絆を強めるよう努めている。見逃した作品やもう一度見たい或いは気軽に見たい時等新たな機会を作って楽しんでいただく為にも神戸の皆さんにとって存在感のある映画館であり続けたいと思っている。

もどこでも行って下さいということなのだろう。

このモニュメントが完成したのは5年前の1986年4月29日の天皇誕生日(昭和)。日本に初めて映画(キネトスコープ)が神港倶楽部で上映されたのを記念して映画上映の記念碑をつくる会(長島隆会長・小泉美喜子事務局長)が結成され、淀川長治先生が寄金第1号となってスタート。(1983年)。

デザインは環境Qの、小林隆一郎、増田正和、山口牧生のアーチスト。能勢で、このオニギリのような形の石が見つかり、小さな客席の石40数個は、マリリン・モンローとかヘップバーンとか、エリザベス・テラー、尾上松之助、などの名前が生年月日と共に記されている。これも淀川長治先生が選ばれた世界の俳優たちで、この石を50万でスポンサーをつけ二千万近い浄財で完成した。

チャップリンを選ばれたのは淀川長治先生。京マチ子は田辺聖子先生などだが、人気女優にスポンサーが集中してえらいこっちゃノ完成当日は、宮崎辰雄前市長と淀川長治先生の同級生コンビでテープカット。あれから5年を経て、今はアベックと子供達の愛のスクリーンだ。

ちよと  
ジェラシーな服。



.....After Fashion

やさしくしないと、タダをこねる。

それは、お洒落着に人気のアセテートとレーヨンです。デリケートなので、汚れすぎるとハードなクリーニング処理で、せっかくの光沢や発色性の良さを損なうことになりかねません。やさしく扱って、着るたびにお手入れをしてください。

AFTER FASHION  
NISHIJIMA

本社 / 神戸市灘区記田町1 078-822-6660 ■ 神戸工場 / 078-851-2440  
 ローフ・ニシジマ三宮 / 078-332-2440 ■ ローフ・ニシジマ山手 / 078-221-2440  
 ローフ・ニシジマ芦屋 / 0797-38-3303 ■ ローフ・ニシジマ宝塚 / 0797-72-0810  
 大阪工場 / 06-853-1332 ■ ローフ・ニシジマつかしん / 06-420-3754  
 リフォーム・フルフル / 078-221-9110

# NHK名曲アルバム収録

「芭蕉布」が、いま、新しくCDで帰ってきた。



企画・製作：深澤 信一 作詞・吉川 安一 本 店：078-331-2680  
 作曲・善久原恒 六 甲 店：078-851-0201  
 写真撮影：楢岡 悟 編曲・鞆富 真一 住 吉 店：078-854-5577  
 芦屋 店：0797-32-2164  
 歌手：奥田 真祐美 ラポルテ店：0797-38-2510  
 演奏：馬詰のりあき&ザ・スクラッチ 名 谷 店：078-792-5078  
 西 神 店：078-992-0210  
 岡 山 店：0862-33-5191  
 倉 吉 店：08528-2-6411  
 米 子 店：0859-33-8411  
 松 江 店：0852-23-8411  
 小 浜 店：07705-3-0877

ドラム / 馬詰 のりあき  
 ピアノ / 鞆富 真一  
 フルート、サクソフ / 横山 貴生  
 ベース / 玉井 英二  
 キーボード / 成瀬 秀之

装丁：深澤 秀城  
 製造：東芝 EMI  
 定価 ¥1200

## 取扱いレコード店

本社 〒650 神戸市中央区元町1丁目6番12号  
 HEAD OFFICE: 6-12, 1-CHOME, MOTOMACHI-DORI,  
 CHUO-KU, KOBE, JAPAN  
 TEL (078) 331-2680  
 FAX (078) 391-2706



株式  
会社

大 蓄



●甲南大学開学40周年に寄せて  
神戸甲南会座談会

# 平生精神と共に、わが道を進め 甲南四十年の歩みを語る

—甲南大学は一九九一年十二月で開学四十周年を迎えます。本日は神戸甲南会の皆様へ学生生活の思い出、神戸の街で活躍中の甲南大学OB氣質を語っていただき、将来の甲南が進む道を提言して下さるようお願いいたします。

フレキシブルな学問のシステム。

久保田 沿革のようなものを少し話させていただきますと、甲南小学校が設立されたのは、日露戦争後です。戦勝で軽佻浮薄になっていく日本へのひとつの警鐘という形でした。旧制の甲南高校は、第一次大戦のヴェルサイユ条約締結の年に、これも成金で沸き立つ世相を憂え、将来の日本を背負う優れた指導者を育てる意図で、設立されたわけです。そうして学制改革後、昭和二十六年に甲南大学が開学されました。神戸の土地に根ざし、教育熱心な家庭の子女を育み、また、キリスト教などの宗教のほうには走らずに、次の世代を作ってきたのが甲南なのです。しかし、甲南学園の創立者平生三郎さんは、イギリスの家庭のように宗教心の強い家庭の子息を求められましたね。それとラグビー精

神でしようか……私がラグビーを学生時代にやりましたから言うわけではありませんが。(笑)「奉公心・団体心は、ラグビー精神と同じことだ」と平生さんはおっしゃってますね。

宮崎 僕は甲南旧制高等学校七年間、陸上競技一本槍でした。甲南を語るには、陸上競技のことを忘れてはならないと思いますね。

平生先生がスポーツを非常に奨励されたからです。面白いエピソードがありますね、あれは大正十三年だったと記憶していますが、

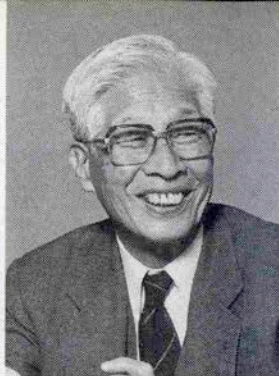
東京帝大主催のリレー大会が東京で開催されました。第一、二回生の生徒が出場しましたが、甲南のことなど他の学生は知らないんですね。ところが四百メートルリレーで優勝したんですよ。それで一躍名前が知れ渡りまして、平生先生も大喜びです。(笑)それで、本郷



久保田 淳一氏  
甲南大学名誉理事、元理事長



和田 邦平氏  
兵庫県立歴史博物館館長



### 新戸 建男氏

甲南学園総務部総務課  
課長補佐

和田 ガリ勉とか受験勉強とかにも甲南は無縁でしたね。そういうものにスポイルされないような自

### 嘉納 毅人氏

御菊正宗 代表取締役社長

は魅力的ですね。  
を満足させる制約のないシステム

### 戸山 晶夫氏

御甲南学園サービスセンター  
代表取締役

嘉納 私は昭和四十一年に理学部  
応用化学科を卒業いたしました

### 加藤 隆久氏

生田神社宮司

話は、伝説になっていますよ。そ  
れから甲南は有名になって(笑)、

### 宮崎 勢四郎氏

御甲南学園サービスセンター  
代表取締役会長

の「江知勝」という有名なスキヤ  
キ屋に生徒を連れていかれました

由で伸び伸びした気風が漂って  
います。個性を大事にするといえま  
しょうか、金属に例えますと、金  
なら金、銀なら銀、それぞれに特  
有の優れた部分を發揮できる、そ  
のような校風が培われています  
ね。僕は昔、本山小学校の頃、甲  
南に入学するのを切望いたしてお  
りました。優秀な生徒がいました  
からね。一中などより先に入学試  
験が実施されましたからでしょ  
う。入学すると、日本語御法度の  
英語の授業や——Mrs. クラーク  
先生でしたね——、イギリスから  
取り寄せた幾何学の本を授業で使  
用したりと、進取でユニークでし  
た。国定教科書などを使った画一  
的なものからは、許容される範囲  
で独自の教育が施されていまし  
た。「甲南は、英才教育だけを目  
ざしておりません」と平生理事長  
は父兄の方に明言されていまし  
た。「こ不満方は、こ息と共  
に、即刻講堂から立ち去って下さ  
い」と。こういう気概で、人間の  
もっている天分を引き出そうとい  
う平生イズムは、今もなお息吹い  
ているでしょう。

加藤 私は、甲南大学の第三回生  
になります。大学草創期に学生生  
活を過したわけですね。当時は、  
経済学部と文理学部のふたつの学  
部しかありませんでした。それに  
一回生から四回生合わせても五百

人に満たない学生数ですから、体育では理科も経済の生徒も一緒なのですね。だから学生たちは皆親しくなっていくのですね。そういう中からテニスやゴルフに逸材が輩出されましたが、文化面にも、

絵画の長谷川三郎、作曲家の貴志康一、歌舞伎の武智鉄二らの諸先輩がいらっしゃいました。私が歌舞伎・文楽研究会に入りました頃、武智歌舞伎に夢中になりましたね。また和田先生に顧問になっていたいただいて古美術研究会なども作っては、奈良や京都の古美術を見学し、文化財を保護、研究しておりました。時代は、安保闘争で全国の大学は混乱しておりました。私達は時代からの逃避ではなく深い日本の文化を知りたい一心でした。旧制の甲南の伝統である自由と個性を尊重する精神が大学にも生きていたと感じるのですね。また徳育をまず先行させた徳育、体育、知育のバランスがとれた教育理念、平生精神なるものが大学にも継承されていました。

久保田 貴志康一は、湯川秀樹博士のノーベル賞授賞式の音楽に、「竹取物語」という曲を作りましたね。貴志さんはベルリンフィルの指揮者にも就任しましたね。湯川さんのほうはご息子を甲南小学校に通わされたりもしました。

加藤 湯川先生を教えられたのが

原子物理の荒勝文策先生で、その方が私たちのときの初代学長なのです。

結婚相手には甲南OBがお勧め

戸山 僕は第四回の卒業生です。甲南大学のOB気質というものは、株式会社ノザワの社長、野澤太一郎さんに象徴されていると思いますね。新しいものを求めるようではないながら、旧居留地などの古いものを非常に大事にされているという野澤社長の精神は、まさしく甲南OB気質といえるでしょうね。また甲南の人脈を越えてルネサンス会(絵画グループ)などで、神戸の様々な方との交わりを深めていらっしゃるのも、きわめて甲南的なことだと思います。

和田 野澤さんと僕とは同級ですが、彼は学生のころ陸上部で、ひたすら走っていましたね。(笑)

戸山 甲南OBは、人格的にも円満な人が多いですね。ある女子大の学長さんがおっしゃっています。甲南を出られた男性と結婚したその女子大の卒業生は、皆、円満な家庭生活を送っているのだそうです。やはりそれは、徳育、体育、知育がバランスよく育まれているからでしょうね。自立心、独立心も加わっていますし、将来の伴侶としては申し分ないでしょう、とおっしゃったので、僕はすかさず、私も甲南の出身です、と

言ってしまいました。(笑)

新戸 甲南で学べたことは、僕にとつて有意義でした。在学中もまた卒業してからも、甲南が僕の生活に大きなウエイトを占めています。文学部でしたが、授業よりも柔道部のほうに夢中になってしまっていました。それでも和田先生には優を頂きました。(笑)卒業後は学校の職員としてお世話してもらい、また今度「私立大学の規程等作成事務執務要領」と銘打って、池田綾子さんと共に本まで出版させていただいております。これも総て甲南の恩師のおかげなのです。特に法学部教授の笹井昭夫先生には細部に亘ってチェックして頂き、その親身な心づかいには感謝いたしております。学生時代から、先生方から学問上は勿論、生活の面でも、このような優しさが感じられましたね。

嘉納 甲南にはユニークな卒業生がいらっしゃいますね。社会は激動の時代を迎えています。その変化に対応できる柔軟な人材を育てるうえでは甲南は最適といえるでしょうね。私自身が身をもって経験しておりますから。(笑)

久保田 外部の世間の変化に応じて、内部の学問も世界も適応していく必要はありますね。

加藤 その点甲南OBは柔軟な思考、行動の持ち主が多いですね。



アーチ型の門のクラシカルな1号館は、甲南大学のシンボルともいえる建物。大学の本部が置かれている。



甲南学園創立者  
故平生鈺三郎氏  
昭和10年代  
甲南高等学校校長当時

久保田 媚びる必要はありませんが、学内においても柔軟性は必須ですね。付和雷同せずして、甲南の先輩方との情報交換を絶えさないようにすべきでしょう。

加藤 その点神戸には甲南OBが多いですから、有利でしょうね。

和田 徳育はイコール、コミュニケーションのことでですね。人間関係、互いの友情をコミュニティすることは徳育なのです。そのためには、安心して金庫の鍵を預けられるような信頼、物質面よりも精神文化への関心が巧ずして求めら

れるべきでしょうね。

嘉納 先程も申しましたように、甲南の枠にはまらない自由な教育のおかげで、社会に出て柔軟な思考ができ、様々な方面の方から情報を得ることができました。

久保田 甲南には、神戸の街に根を下ろしている安定性、良い意味での保守性がありますね。同時に、神戸が変われば甲南も……という柔軟性も内包していますよ。

嘉納 新しい局面へのチャレンジ精神もありますからね。

久保田 神戸がアジアの中の神戸へと拡大発展していく将来に、甲南も順応していくでしょう。

神戸に平生精神を開花させよう。

和田 共に働き共に助けるといふ平生さんの「共働互助」精神、エゴイズムを離れたコミュニケーションが活きてくるでしょうね。

久保田 「共存共栄」とも平生さんはおっしゃいましたね。日本はともすると追いつき追い越せの頑張りや、張りを発揚しますが、これからの国際化には「共存共栄」が必要ですね。

宮崎 甲南は、タテ、ヨコの人間関係のつながりが強いですね。徳育第一主義、愛情による相互信頼を大切にして発展してほしいね。

久保田 空港ができれば、国際化は必至です。公共施設や生活環境の充実を図り、神戸のパーソナリティーを高めなければなりません。神戸の味の文化をもっとアピールして……。

加藤 UCC上島珈琲の上島達司社長や高嶋酒類食品の高嶋良平社長など甲南に縁のある食文化の大使御所が神戸に健在ですよ。

新戸 ファッションも……。僕らの学生時代は甲南はファッションの最先端でした。神戸はおしゃれな街ですよ。

和田 紳士、ジェントルマンでした。ね、甲南の人は。

久保田 平生鈺三郎、柔道の嘉納治五郎、そして灘生協の那須善治は東灘が産んだ三偉人といわれています。甲南のジェントルマンですよ。

加藤 ジェントルマンとして平生精神を継承してほしいですね、これからの甲南も。

和田 将来も誇り高く、世の中に貢献してもらいたいですね。

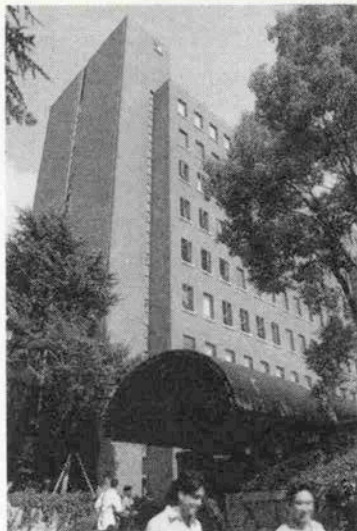
外山 和をもって、即ち共存精神を若い甲南生へのメッセージにしたいですね。

(平生記念館にて)





## ● 甲南大学開学40周年に寄せて



徳育・体育・知育のすべての面でバランスのとれた教育を実践し、そのなかから一人ひとりの個性を引き出していこうとした創立者・平生卯三郎翁。その精神が甲南大学らしいユニークな教育姿勢を生み出し、少人数教育や情報化、国際化への積極的な取り組みという形に結実しているのです。

豊かな教育をおこなうにはまず豊かな環境をつくる必要があります。そのために、教育・研究のための施設はもちろん、学生生活や体育活動のための施設も積極的に充実させ、常に最新の設備や機器を導入しています。

### 甲南学園歌

壽岳文章 作詞

みはるかす 茅渚の海  
日にひかり 雨にけむり  
わこうどの 夢をさそう

甲南 この学び舎

さわやかに 山のかげ  
目にしたし 木々のみどり  
わこうどの ころろは澄む

甲南 この学び舎

わがみちを すすめとの  
遺訓あり まもり活かす  
わこうどの 誓い固し

甲南 この学び舎

世の常に 媚ぶるなく  
わがくるま 星につなぐ  
わこうどの 誇り高し

甲南 この学び舎

## 神戸のなかで育まれた気風

二見 巖 旧高二回 理科卒業 川崎食品産業株式会社 取締役社長 神戸市長田区川西通二一 電話 〇七八 六四三一一二五	穎川 徳助 旧高三回 理科乙類卒業 株式会社 幸福銀行 取締役社長 大阪市西区土佐堀一 一三三七 電話 〇〇四 四四四一五五一	西崎 敬四郎 新高一回 昭和二年卒業 西崎眼科医院 院長 神戸市東灘区岡本一八三三 電話 〇七八 四三一一〇六八九	小泉 進吉 昭和三年 経済学部卒業 小泉製麻株式会社 監査役 神戸市灘区新在家北町二一一一 電話 〇七八 八四一四一四一	池野 元造 昭和三年 経済学部卒業 近畿食品工業株式会社 取締役社長 神戸市長田区東池町一五十三 電話 〇七八 六八一二七二二	加藤 隆久 昭和三年 文学部卒業 生田神社 宮司 神戸女子大学教授 神戸甲南会会長 神戸市中央区下山手通一 二一一 電話 〇七八 三三二一三八五二
---	--	--	---	--	---



創立者 故平生夙三郎氏 プロフィール  
 慶応2年(1866年)、現在の岐阜市に生まれる。  
 東京海上火災保険株式会社専務取締役、川崎造船所社長、  
 日本製鉄株式会社 取締役会長、貴族院議員、文部大臣 な  
 ど、政財界の重職を歴任。大きな成果をおげる。社会奉仕  
 にも力を注ぎ、甲南学園、甲南病院、瀬神戸生協の設立に  
 尽力した。

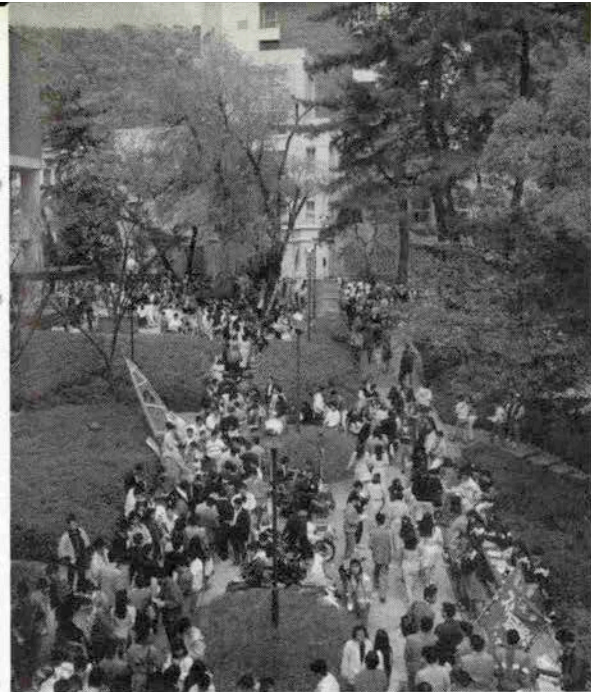


学長  
 湯浅 一經氏

知育だけに偏らず、徳育、体育にも力を注ぎ、1人1人の  
 個性を引き出していこうという平生翁の考えに基づいて設  
 立された甲南大学は、先進的で独創的な教育をおこなう大  
 学として、高い評価を得ています。

## 創立者平生夙三郎翁の精神を受け継ぐユニークな教育

<p>渡邊 千城                  昭和三年 経済学部卒業                  株式会社 渡邊洋服店                  代表取締役                  神戸市中央区磯上通八ー一三二                  グリーンビル内                  電話(〇七八)二五一八五〇一</p>	<p>戸山 昌夫                  昭和三年 経済学部卒業                  株式会社 甲南サービスセンター                  取締役社長                  神戸市東灘区住吉本町二一九一十五                  甲南学園平生記念館内                  電話(〇七八)八五四一六〇五</p>	<p>山田 廣彦                  昭和三年 経済学部卒業                  神戸リハウス株式会社                  代表取締役社長                  神戸市灘区城内通五一五三                  電話(〇七八)八〇二一三〇三</p>	<p>鳥越 資之                  昭和四年 経済学部卒業                  瀬神戸眼鏡院 代表取締役社長                  鳥越 哲                  昭和三年 経済学部卒業                  瀬神戸眼鏡院 代表取締役専務                  神戸市中央区元町通三一六一二二                  電話(〇七八)三二一一二二二</p>	<p>小西 清一郎                  昭和三年 経営学部卒業                  コーベコニシ株式会社                  代表取締役社長                  神戸市中央区磯上通四一三二四                  電話(〇七八)三三一〇二二</p>	<p>森川 正興                  昭和四年 経済学部卒業                  株式会社 モトーレン神戸                  取締役社長                  神戸市中央区小野柄通五一二一〇                  電話(〇七八)三二二四一五一</p>
---	---	--	---	--	---

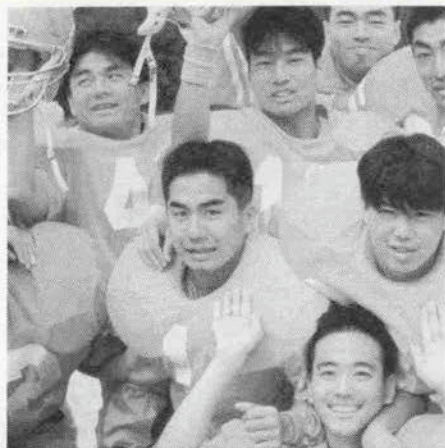


#### ◀ 摂津祭

あふれんばかりの模擬店  
120店舗。やかましいくら  
いにぎわって、まさに  
“祭”という雰囲気です。

元気いっぱい甲南生▶  
甲南大学のキャンパスライ  
フは刺激的。勉強に、サー  
クル活動に、そして、スポ  
ーツに情熱を傾けます。

▼ 国際都市“神戸”に位置す  
る甲南大学は国際交流にも  
力を入れています。アメリ  
カのイリノイ大学とは1976  
年から教育学術交流を実施  
しています。



## 開かれた甲南—国際交流・スポーツ・文化

<p>甲南大学</p> <p>神戸市東灘区岡本8-9-1 電話 (078) 431-4341</p>	<p>小泉興業株式会社</p> <p>神戸市東灘区友田町五十二番三 グラウンド六甲ボーリングセンター内 電話 〇七八 八四一三二五</p>	<p>株式会社 とんかつ武蔵</p> <p>神戸市中央区三宮町二十一番二 電話 〇七八 三三二一〇六三四</p>	<p>川飛満晃</p> <p>昭和六二年 法学部卒業</p> <p>株式会社 オートラマジェム 代表取締役 神戸市東灘区魚崎南町六五三三 電話 〇七八 四五二一三三四</p>	<p>米田利勝</p> <p>昭和四一年 文学部卒業</p> <p>株式会社 取締役社長 神戸市東灘区御影本町一七七一五 電話 〇七八 八五一〇〇〇一</p>	<p>横田浩</p> <p>昭和四〇年 経営学部卒業</p> <p>有限会社 ヨコタパール 代表取締役 神戸市中央区北長狭通三七六 サニーハイツ 舞川二階 電話 〇七八 三九二二〇五二</p>
--	---	--	---	---	--